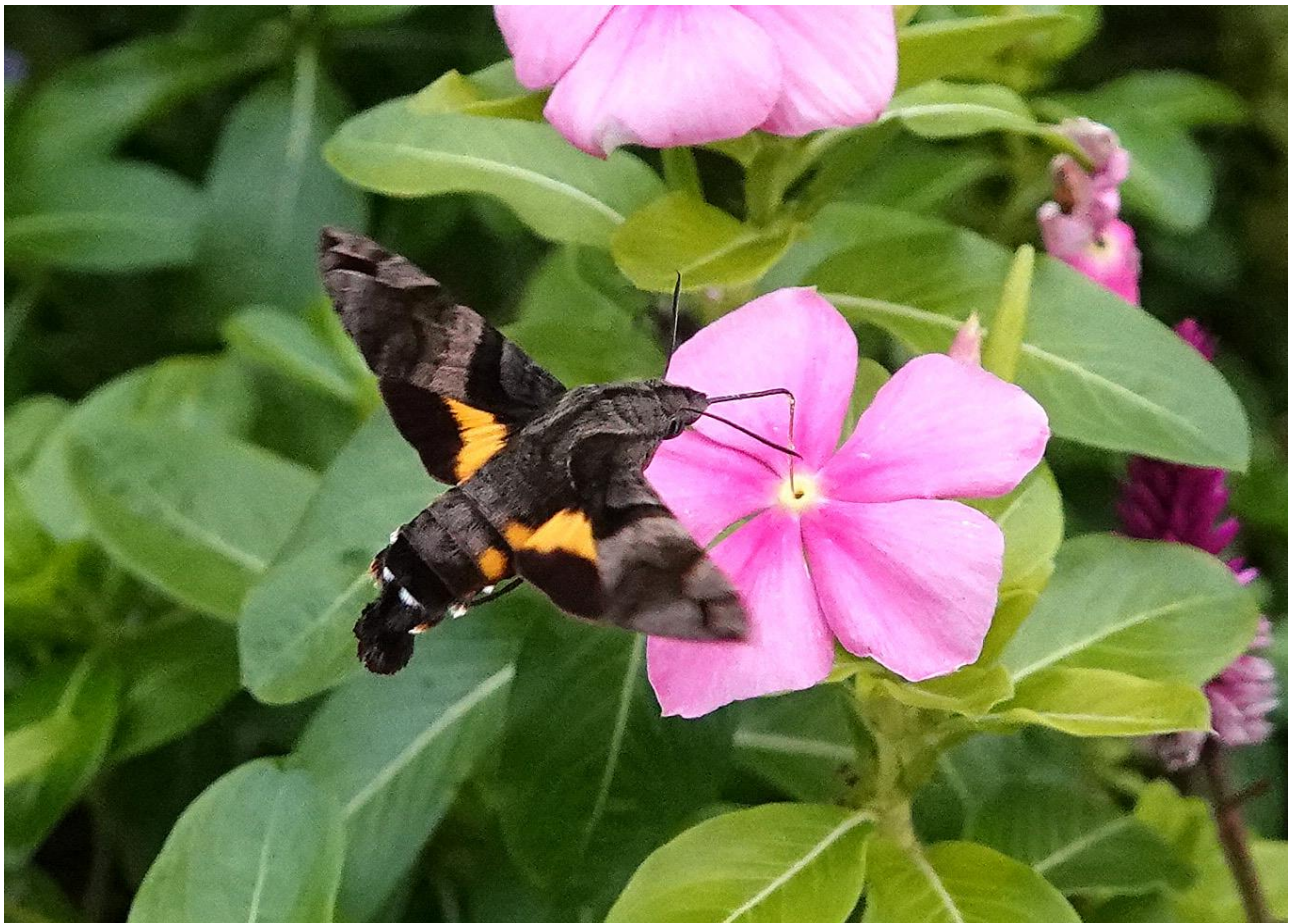


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ホシホウジャク	スズメガ科	ホバリング吸蜜	○	○	○	全国



川崎市 9月27日（2022年） ツリフネソウに飛来

多摩川、生田緑地では夏の終りから10月中旬ころまで個体数が多く、生田緑地ではツリフネソウに飛来する姿を見かけることが多い。昼行性のスズメガで生田緑地では湿地のツリフネソウを次から次へと移動してはホバリング、或いは花にもぐり込んで吸蜜する。翅を閉じてとまっていると迷彩色で目立たないが、飛翔時は後翅の黄褐色がよく目立つ。



川崎市 10月11日（2022年） ニチニチソウに飛来しホバリングしながら器用に口吻を操り吸蜜する



川崎市 多摩川10月8日（2023年）

ノアザガオに飛来 口吻が伸びる



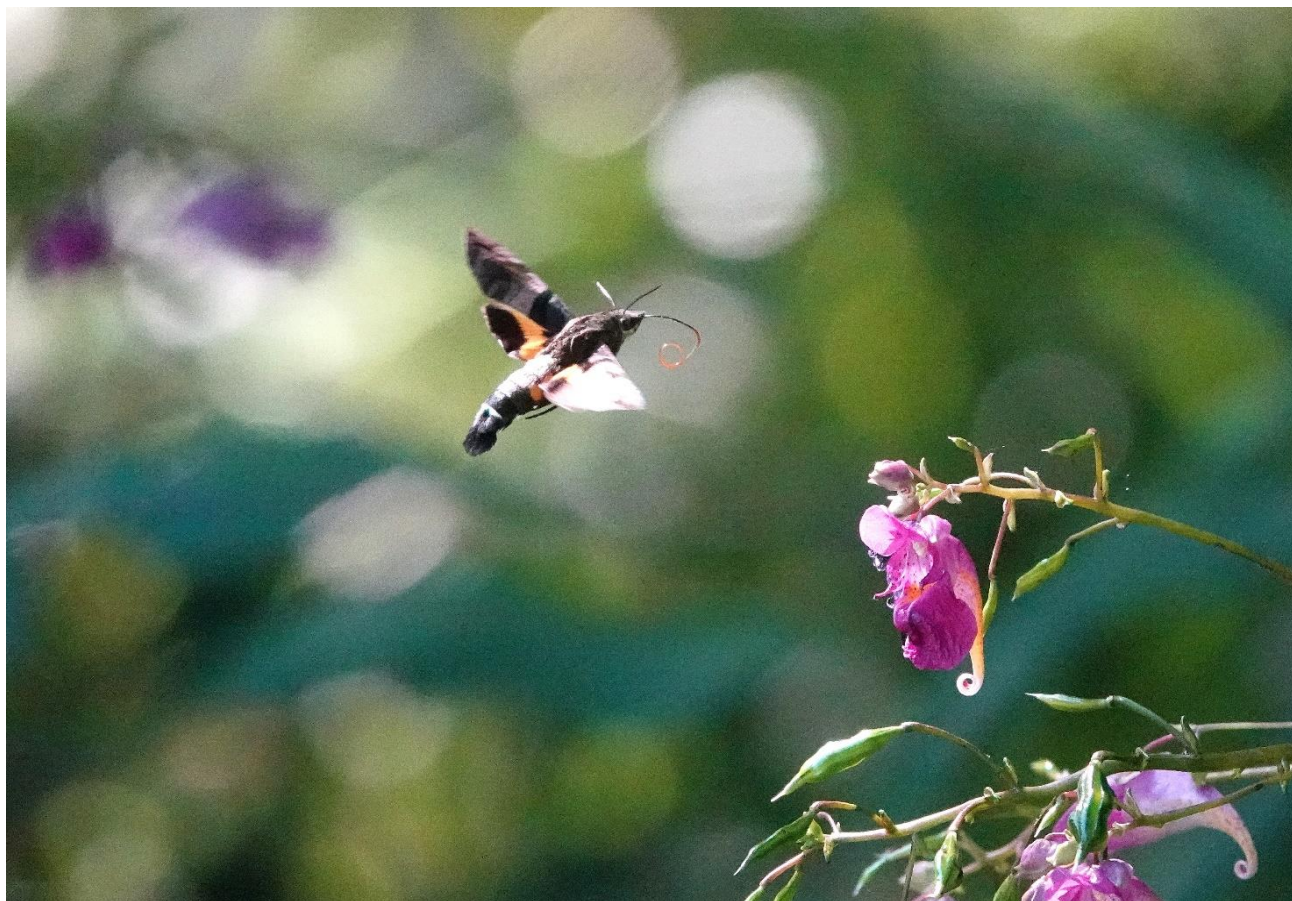
川崎市 多摩川10月8日（2023年）

吸蜜後撤収する

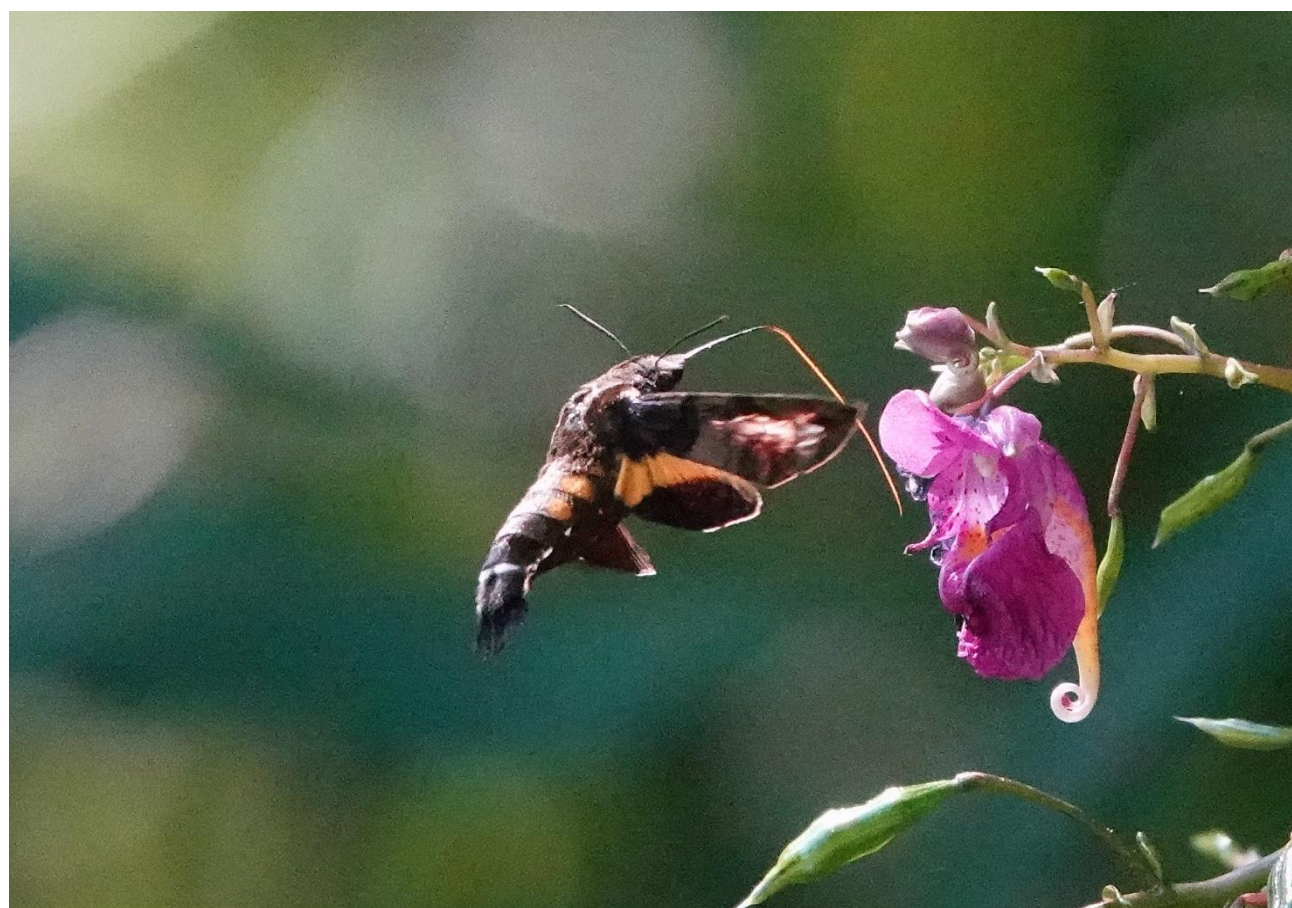


川崎市 10月13日（2023年）

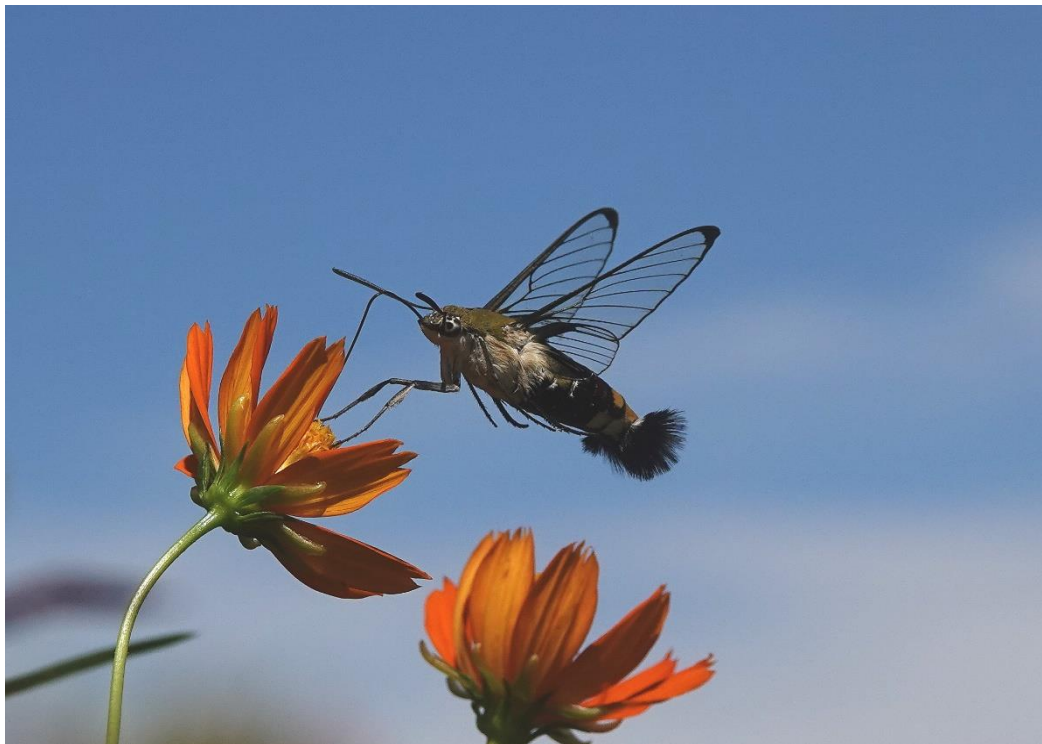
ツリフネソウ



川崎市 10月12日（2023年） ツリフネソウ



川崎市 10月12日（2023年） ツリフネソウ



↑ → ↓
オオスカシバ

川崎市 多摩川中野島
8月26日（2024年）

ホバリングは不得意らしく常に花に脚が一本かかっている。

羽化した時の翅は鱗粉で覆われているが飛ぶとすぐに剥がれて透明になるらしい

